

1年生 部活動見学及び仮入部

6月9日（火）から部活動が再開されました。部活動は、中学校生活において重要な位置を占めるものです。体力や技能を高めるだけではなく、日々の活動を通して、がんばりぬくための精神力を養ったり、友達や先生との深い信頼関係を築いていったりすることも部活動の大事な役割です。

今週は、1年生が部活動見学、仮入部体験を行っています。正式入部に向けて、それぞれの部活動の活動内容を自分の目で確かめたり、実際に体験してみたりすることは大変意義のあることです。自分がやってみたいと思う活動や自分にあった活動を見つけ、これからの放課後の中学校生活をより充実させてほしいと願っています。1年生の正式入部は、6月23日（火）です。（写真は、部活動見学の様子です。）



【中学生のころ】（第7回）

第1学年1組担任 西澤 勇祐

私は優秀でした。なので、学習内容はほとんど理解できるもので、授業中に居眠りをしてしまうことがよくありました。中学2年生のとき、自分の所属する部活動の顧問（自分の学年の学年主任でもある）の先生に呼び出されました。そこで、「部活をやめるか、寝るのをやめるか、どっちだ!？」と選択を迫られました。すごく怖かったのと、部活をやりたいかったのもあり私は泣いて謝りました。以後、中学在学中は授業中に寝なくなりました。人は失敗して成長するものです！



第2学年3組担任 山縣 志帆

中学生の頃の私は、授業では分かっているのに恥ずかしくて挙手できない、内弁慶な子でした。しかし、学年があがるにつれて少しずつ元気になり（母曰く）、生徒会役員を引き受けるまでに成長しました。今振り返ると、その要因となったのは部活動ではないかと感じます。当時、私は吹奏楽部に所属し、クラリネットという楽器を担当していました。早朝練習や、土日の一日練習など、今では考えられない世界だと思います。しかし、音楽を通した様々な出会いや、先生方や仲間たちと有意義な時間を過ごせたことは現在の私の人格形成に大きく影響していると感じます。また、挨拶や上下関係にも厳しく、ここで叩き込まれた礼儀は社会に出た今、大変役立っています。



